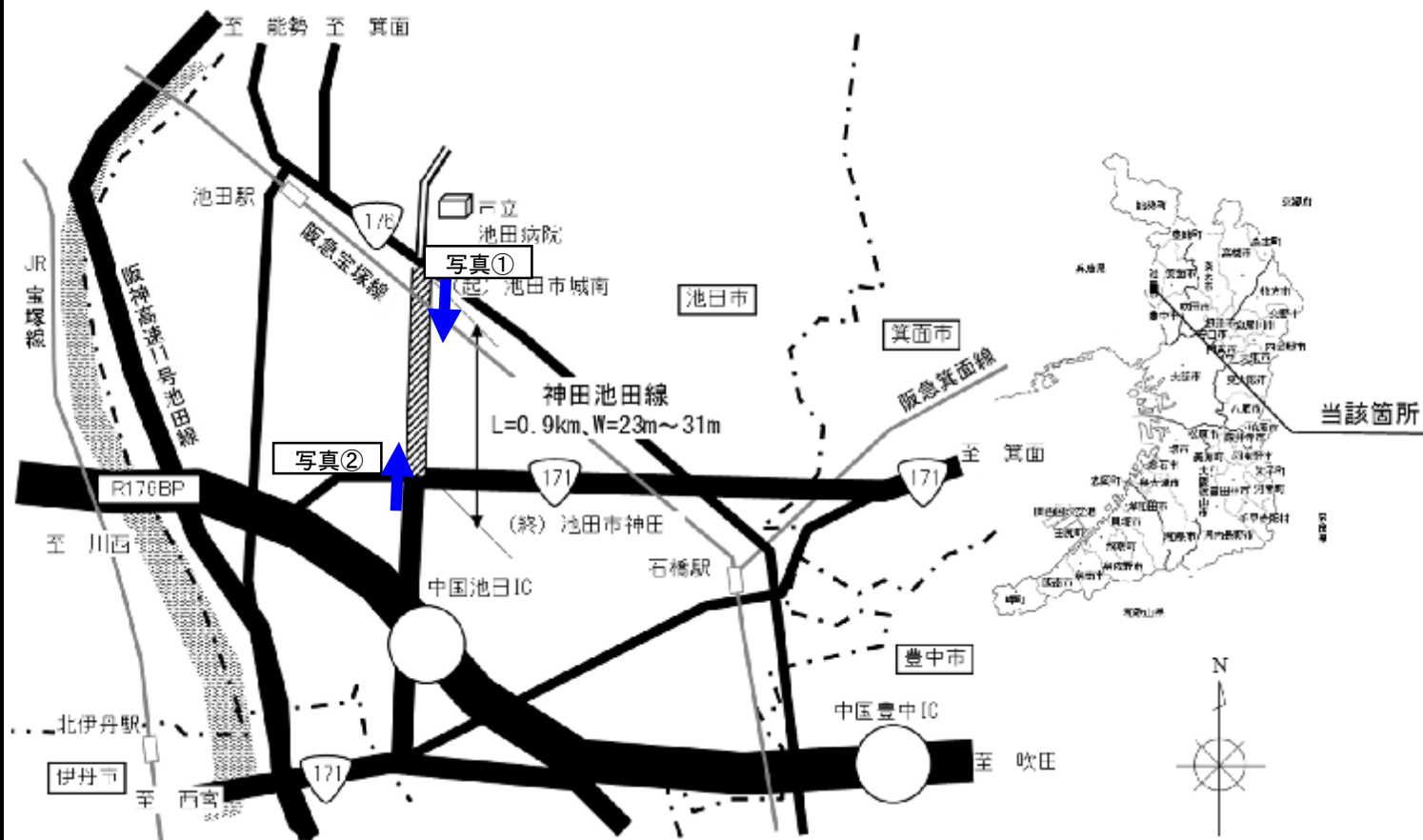


平成 25 年度 事後評価点検表（内部評価）

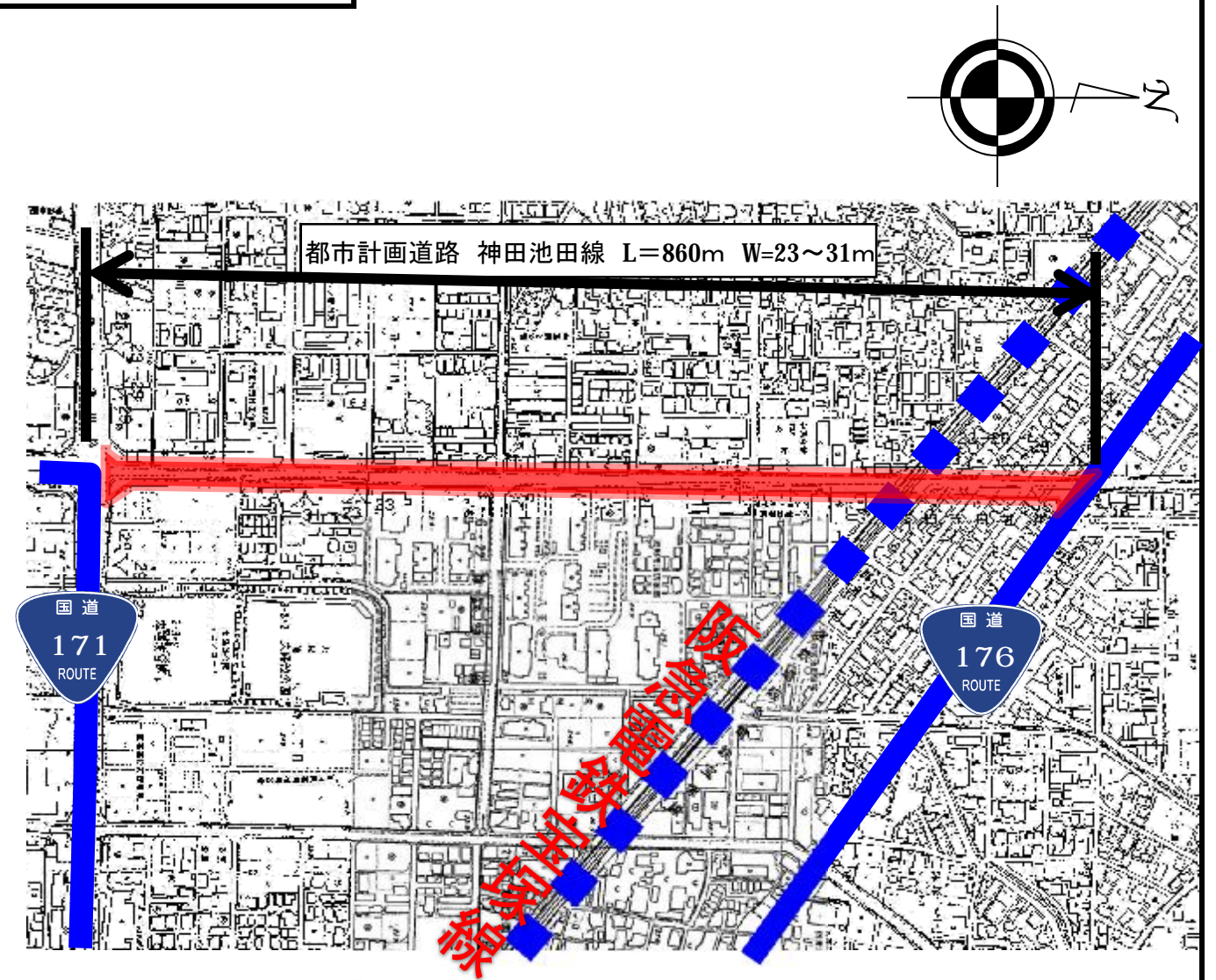
事業名	都市計画道路 神田池田線 街路事業																										
担当部署	都市整備部 交通道路室 道路整備課 建設グループ（連絡先 06-6944-9276）																										
事業箇所	池田市神田 2 丁目～城南 2 丁目																										
内容	<p>本路線は、池田市の中心部を南北方向に縦断し、国道 176 号と国道 171 号を結ぶ主要幹線道路である。</p> <p>東西方向の幹線道路として、国道 176 号及び国道 171 号が整備されているが、南北方向の整備が遅れており、特に国道 176 号については慢性的な交通混雑が発生している。</p> <p>本路線の整備により、周辺交通道路の渋滞を緩和する。</p> <p>【工事内容】 街路築造工事 延長： L=0.85km 幅員： W=23～31m（車線数：4、両側自歩道）</p>																										
関連事業とその現状	—																										
社会経済情勢の変化	<p>【周辺道路の状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th><R176></th> <th>整備前 (H17 センサス)</th> <th>完成後 (H22 センサス)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>交通量</td> <td>20,546 台/日</td> <td>17,969 台/日</td> </tr> <tr> <td>大型車混入率</td> <td>11.9%</td> <td>11.9%</td> </tr> <tr> <td>混雑時旅行速度</td> <td>8.8 km/h</td> <td>23.7km/h</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th><R171></th> <th>整備前 (H17 センサス)</th> <th>完成後 (H22 センサス)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>交通量</td> <td>38,228 台/日</td> <td>29,582 台/日</td> </tr> <tr> <td>大型車混入率</td> <td>18.3%</td> <td>18.3%</td> </tr> <tr> <td>混雑時旅行速度</td> <td>28.5 km/h</td> <td>47.5km/h</td> </tr> </tbody> </table>			<R176>	整備前 (H17 センサス)	完成後 (H22 センサス)	交通量	20,546 台/日	17,969 台/日	大型車混入率	11.9%	11.9%	混雑時旅行速度	8.8 km/h	23.7km/h	<R171>	整備前 (H17 センサス)	完成後 (H22 センサス)	交通量	38,228 台/日	29,582 台/日	大型車混入率	18.3%	18.3%	混雑時旅行速度	28.5 km/h	47.5km/h
<R176>	整備前 (H17 センサス)	完成後 (H22 センサス)																									
交通量	20,546 台/日	17,969 台/日																									
大型車混入率	11.9%	11.9%																									
混雑時旅行速度	8.8 km/h	23.7km/h																									
<R171>	整備前 (H17 センサス)	完成後 (H22 センサス)																									
交通量	38,228 台/日	29,582 台/日																									
大型車混入率	18.3%	18.3%																									
混雑時旅行速度	28.5 km/h	47.5km/h																									
事業実施による自然環境の変化	・中央分離帯に沿道の農業高等学校の協力により、連続植樹帯を設置し、緑の回復を図ることが可能となった。																										
最終評価時の意見 具申と府の対応	<p>【最終評価時の意見】 —</p> <p>【府の対応】 —</p>																										

	【最終評価なし】	【完了時点 H20】	【分析】
事業費	全体事業費 68 億円		—
①事業期間 ②採択年度 ③着工年度 ④完成年度	①15 年 ②平成 6 年度 ③平成 7 年度 ④平成 20 年度		—
定量的効果 (費用便益分析等)	<p>・計画時点では、費用便益の分析手法が確立されておらず、算出していない。</p>	<p>【計画（整備前）】</p> <ul style="list-style-type: none"> 計画交通量 12,400 台/日 計画大型車混入率 9.9 % 周辺道路（R176）の状況 交通量：20,546 台/日 混雑時旅行速度：8.8 km/h 周辺道路（R171）の状況 交通量：38,228 台/日 混雑時旅行速度：28.5 km/h <p>【整備結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 交通量 12,372 台/日 大型車混入率 11.4% 周辺道路（R176）の状況 交通量：17,969 台/日 （▲2,577 台/日） 混雑時旅行速度：23.7km/h 周辺道路（R171）の状況 交通量：29,582 台/日 （▲8,646 台/日） 混雑時旅行速度：47.5km/h 	<p>・計画をほぼ満たし、周辺道路の交通量の減少及び混雑時旅行速度の向上に寄与しており、本道路の整備効果が確認できる。</p> <p>【費用便益分析結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> B/C=2.9 B=約 234.3 億円 C=約 81.3 億円 <p>【算出方法】 街路事業における費用便益分析マニュアル（案）（建設省都市局街路課作成） ※総便益及び総費用は、基準年（平成 16 年）における現在価値で算出している。社会的割引率は年 4 %、供用開始は平成 20 年、費用便益の算定期間は供用開始から 50 年としている。 ※総費用=事業費+維持管理費</p>
事業効果の定性的分析 (安心・安全、活力、快適性等の有効性)	<p>【効果項目】 [安心・安全] ・歩車分離による交通安全機能の向上 [活力] ・周辺道路の渋滞解消</p> <p>【受益者】 ・地域住民、道路利用者</p>		・目的を達している。
その他特記事項	—		
評価結果	<p>・平成20年度に供用しており、本路線の当初計画交通量 12,400台/日に対して、整備後の交通量は平成22年センサスにおいて12,372台/日となっており、概ね計画を満たしている。</p> <p>・周辺道路である国道171号、国道176号では、整備後それぞれ22.6%、12.5%の交通量の減少率となっており、府域全体の9.3%の減少率を上回っていることから、本路線の整備による効果が見受けられる。</p> <p>・また、自然環境への配慮について、植樹帯の配置により緑の回復に努めている</p>		
今後の同種事業に対する改善措置等	—		

事業箇所図



平面図



現況写真

写真①

写真②



標準断面図

